

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者[※]の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名></p> <p>HFpEF/HFmrEF 患者に対する心不全治療薬の推移を前向きに検討する研究 SAKURA-HF IMPACT (Implementation of Multidrug therapy for Preserved And mid-range EF in Acute Care)</p>
<p><研究機関・研究責任者名></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科・奥村 恭男</p>
<p><研究期間></p> <p>機関の長の初回許可日 ～ 令和 10 (西暦 2028) 年 12 月 31 日</p>
<p><対象となる方></p> <p>2026 年 1 月 1 日から 2027 年 12 月 31 日まで日本大学医学部附属板橋病院および共同研究機関に急性非代償性心不全または慢性心不全の急性増悪の診断で入院し、心不全治療を受けた患者さん。</p>
<p><研究の目的></p> <p>左室駆出率が比較的保たれた心不全 (HFpEF/HFmrEF) において心不全治療薬、特に SGLT2 阻害薬やミネラルコルチコイド受容体拮抗薬 (フィネレノンなど) を中心とした包括的治療の導入状況とその後の継続状況などを経時的に評価するとともに、心不全再入院などの臨床転帰がどうなるかを検討することを目的としています。</p>
<p><研究の方法></p> <p>探索的観察研究として、対象となる患者さんの情報を診療録から必要な情報を抜粋し、記録します。下記に記載されている項目および退院後 12 ヶ月までの状態を追跡します。それらのデータを統計学的に解析します。</p>
<p><研究に用いる試料・情報の項目></p> <p>基本情報 (年齢、性別、身長、体重、BMI など)、併存疾患 (高血圧、糖尿病、脂質代謝異常、慢性腎臓病、心房細動、虚血性心疾患など)、症状、血液検査所見、心エコー図検査所見、入院中の治療内容、ならびに退院時および追跡期間中の内服治療薬の処方内容。</p>
<p><研究を実施する機関組織></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 奥村恭男 日本大学病院 循環器内科 深町 大介 東京臨海病院 循環器内科 園田 和正 川口市立医療センター 循環器内科 渥美 渉 TMG あさか医療センター 循環器内科 春田 裕典 横浜中央病院 循環器内科 古屋 真吾 春日部市立医療センター 循環器内科 古川 力丈</p>

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科・北野 大輔
東京都板橋区大谷口上町 30-1 電話 03-3972-8111 (内線 2412)

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方